新時代
NO.106
4月20日
民主主義学生同盟 市大部機関紙

全ての民主的学友は民学同に結集しよう!

筑波法案粉砕へ前進しよう!

春闘、日教組労働者と連帯し、5月中旬全学ストー全関西自治会統一行動を実現

全ての民主的学友と民学同に結集しよう!

全ての民主的学友と民学同に結集しよう!

全市大の学友諸君!

今春期教育学園情勢において、今や全国的政治課題として提起されている「筑波法案」粉砕のたたかいは、再度大学の"自治"を問う全国的な反独占闘争として闘われており、政府独占との全面的対決を不可避なものとしている。

今国会に上程されている、筑波大学法案(国立学校設置法改正案)は、政府独占の中教審答申に基づく大学の再編=資本主義的合理化へ効率的な国家独占体制の整備、科学技術の全面的私物化を目論み、独占に奉仕する高級中堅技術者等々の労働力養成、そのための教育・研究内容の改悪などのものとなっている。

これら民主勢力の闘いは、総じて筑波法案廃案への展望を我々のまえに切り拓いている。このような状況の下、クラス・学科を基礎にした三役の高揚を図り取り、全学スト、全関西自治会統一行動へと闘いをおしひろげなくてはならない、と同時に学内において中教審答申体制の粉砕の闘いは学内民主的改革闘争として結合してたたかいを展開しなければならない。

3・16斗争勝利へ学内民主的改革斗争の一層の強化を古ち取ろう!

3年にと言にいねばり強く斗われている3・16斗争は、現在居通り続けている工教授会、「学部長会」の名の下にある、16問題を工学部の四ケ月に閉じ込めんとして、工学生大会成功、全学あげての試験ボイコットを貫徹し、国立学費値上げ反対斗争と結合して、全学的な斗争体制をうちきつけていく中で、全学的な斗争体制を打ち固められつつある。そして、エクラ代を明確にうち出したように、筑波法案粉砕の斗いと結合させ、市大における中教審答申具体化斗いと結合させ、市大における中教審答申具体化を許さぬ巨大な斗いとして創出されている。

我々は次の点をはっきりと確認する必要がある。それは、中教審答申を、全世界的に激化しつつある帝国主義戦の下へウラに続く≫

≪4月17日、5時、牛市以中集にて

全市大の学友諸君!

今春期教育学園情勢において、今や全国的政治課題として提起されている「筑波法案」粉砕のたたかいは、再度大学の"自治"を問う全国的な反独占闘争として闘われており、政府独占との全面的対決を不可避なものとしている。

今国会に上程されている、筑波大学法案(国立学校設置法改正案)は、政府独占の中教審答申に基づく大学の再編=資本主義的合理化へ効率的な国家独占体制の整備、科学技術の全面的私物化を目論み、独占に奉仕する高級中堅技術者等々の労働力養成、そのための教育・研究内容の改悪などのものとなっている。

これら民主勢力の闘いは、総じて筑波法案廃案への展望を我々のまえに切り拓いている。このような状況の下、クラス・学科を基礎にした三役の高揚を図り取り、全学スト、全関西自治会統一行動へと闘いをおしひろげなくてはならない、と同時に学内において中教審答申体制の粉砕の闘いは学内民主的改革闘争として結合してたたかいを展開しなければならない。

3・16斗争勝利へ学内民主的改革斗争の一層の強化を古ち取ろう!

3年にと言にいねばり強く斗われている3・16斗争は、現在居通り続けている工教授会、「学部長会」の名の下にある、16問題を工学部の四ケ月に閉じ込めんとして、工学生大会成功、全学あげての試験ボイコットを貫徹し、国立学費値上げ反対斗争と結合して、全学的な斗争体制をうちきつけていく中で、全学的な斗争体制を打ち固められつつある。そして、エクラ代を明確にうち出したように、筑波法案粉砕の斗いと結合させ、市大における中教審答申具体化斗いと結合させ、市大における中教審答申具体化を許さぬ巨大な斗いとして創出されている。

我々は次の点をはっきりと確認する必要がある。それは、中教審答申を、全世界的に激化しつつある帝国主義戦の下へウラに続く≫

≪4月17日、5時、牛市以中集にて

機関紙「デモクラート」を読もう。

効率的な自主技術開発体制の整備、科学技術の全面的私物化等の目論みをもってする政府独占の意志をうけた大学に対する攻撃である事を確認するならば、ろ、16闘争は正にこれと対決する市大における闘争であるということである。中教審構想のモデル化としての新設学部を高等教育における一切の諸反動政策の首謀、法制化による具体化として位置付けるならば、我々は、ろ、16闘争を新設学部の市大における具体的な闘いとして展開せねばならない。そして、この事こそが、ろ、16闘争＝中教審具体化阻止＝工学部民主的改革闘争を更に発展強化し、新設学部における教育研究体制の新たな強化策動＝（学群、学系制度による教育、研究機能の分離と管理支配体制の強化＝（学長、副学長への権限集中）を実際に粉砕してゆくことを意味する。

学生自治会の如く、ろ、16闘争を具体的なる有効に闘うことなく、一般的な「新設学部粉砕」の空文句を叫ぶことは許されない。

当局＝学長、工教授会の居直り、「収拾」路線の押し付けを粉砕し、ろ、16闘争完全勝利＝中教審路線実質化、新設学部粉砕へ向け、早急にクラス討論を展開し、クラス決議を集中し、闘いの体制を打ち固める中、全学ストライキ＝全関西自治会統一行動を準備しよう

昨年度市大闘争の成果と教訓をふまえ、新設学部粉砕に向け、クラス、学科から更なる統一の強化を。

市大の昨年度の闘いは、工学部、ろ、16闘争・学費値上げ阻止闘争・二百名新規獲得闘争を中心に、全学の総力を結集し、今年二月、工学部の二度の教授ストと、教養一週間スト、更に全学四日間の断固たるストと四波にわたる全学対市行動の上で、二年連続で市大学費値上げを阻止する輝かしい成果を得ている。

かかる成果を勝ち取った市大全学を揺るがす巨大な闘いを生み出し、前進させたのは、我が同盟が一貫して主張してきたクラス、学科、自治組織を中心とした圧倒的な討論の展開、クラス決議の集中、それらを基礎にした統一行動の力であった。

かかる闘いの前に、民青の自治会請け負い主義とセクト主義、学生大衆の要望[illegible]と完全に[illegible]こそせ、同時に、革マル派及び従来それに追随して分裂学生大会を開催し、極左的戦術を提起してきたブンド、第四インター諸君は、ついに最後まで無期限バリストを口にできず、大幅な路線転換＝彼らの論理の事実上の破産を結果した。闘いは断固として、しかも整然と前進し、大学当局の挑発行為すらも粉砕した。

そして、市大闘争が担った三つの課題は中教審答申の実質化と対決する不可欠の内容をもっていたが、その本質に迫る闘いは、春休み中も何ら闘争体制を弱めることなく継続されており、「新設工学部案」粉砕を中心に工学の民主的改革を目指す全学統一闘争が準備されつつある。更に、かかる闘いの中で、学生の戦列の強化と自治会への大衆的再建の緊急性が広範な学友の共通の認識となりつつある。工学部クラス学科代表者会議は、工学部自治会に発展しようとしている。自治会再建の下に、市大学生運動をさらに一歩前進させようではないか。

クラス、学科の活動を定着させ、仲間をより固める中、新設学部粉砕、ろ、16闘争に勝利しよう。

学友諸君。とりわけ新入生諸君。目前に行う運自治委員を選出し、クラス活動を定着させよう。目前に迫る中、クラスで新設、ろ、16闘争の意義は、クラス討論を展開しよう。新設学部粉砕、ろ、16闘争勝利の闘いの内容ある前進と勝利の展望はクラス学科からの大衆的決起を基礎としてのみ、はじめて可能となる。更にそれは、クラス学科の団結とた闘いの中でのみ、より強固な闘いとなる。

学友諸君。現在も尚、ねばり強く闘われている工学部学友の闘いを孤立させる事なく、断固とした支援体制を構築し、更に、新設に向けた闘う意志統一を早急にクラス、学科から作り上げよう。

そして、当局＝学長、工教授会の居直り、「収拾」路線を粉砕し、ろ、16闘争完全勝利＝中教審実質化阻止＝新設学部粉砕に向け、全学スト、全関西自治会統一行動で闘おう。

共に闘わん。

四月二十日

民主主義学生同盟

市大支部

機関誌「新時代」を読もう。